平成22年7月28日

福　島　民　報

（第三種郵便物認可）

村と東京農大の「保全活動」

鮫川の景観守ろう

学生、首都圏住民ら 水田で草取り

東京農大と鮫川村のカレッジ講座「鮫川村・里山景観保全活動」は十七日から十九日までの三日間、村内で行われた。

学生と首都圏住民合わせて約四十人が参加した。耕作放棄地になってしまうとして学生らが田植えをして景観の保全に乗り出した水田二十アールで、地元の鈴木寛重さんの指導を受け、草取りした。水田の周辺で動植物の生息環境も観察し、夜にはホタルを観賞した。

二日目は、村が桃源郷整備を進める舘山公園で、散策ルートに木の階段を設け、除草に取り組んだ。そのほか鹿角平天文台での天体観測、江竜田の滝周辺での川遊びなど、鮫川の自然を満喫した。

村は農林業の兼業化や高齢化に伴い、管理放棄された田畑や山林の景観保全が課題となっている。平成十二年四月から始まったカレッジ講座は今回が六十五回目。学生と村民が協働で里山の再生、エネルギーの地産地消、持続可能な地域づくりを進めている。

景観保全のため水田の草取りをする学生ら